



夏の夜を「設楽さんさ」の人となり



兼 東栄町役場
編集人 兼 発行 者



豊橋市東八町
印刷所 水鳥印刷所

第 49 号

立地条件に即した計画を...

井上學大助教授を招き

新しい町づくり懇談会開く

私達の町東栄町も発足以来八年を経過いたしました。今国を挙げて新町の育成強化を推進し、各町村もこうした問題と真剣にとりくんでおります時、立地条件に即した開発計画こそ町の将来にとって最も大きな役割をはたすものであります。

こうした考えから去る八月六日午後一時から愛知学芸大学助教授、東三河産業開発連合会参与であられる井上和雄先生をお招きして「新しい町づくりの懇談会」を東栄中学校で開催いたしました。参会者は町議会議員、農協、森林組合、商工会、木材組合、正副区長、各小中学校長等各団体役員八十余名、午後四時三十分まで熱心に聴講、質疑され盛會裡に閉会しました。

井上先生の講演要旨は次の通りであります。

町の建設計画を策定する場合その立地条件を十分考慮することは言をまたないところである。東栄町は工業地帯とは遠く隔絶され、人口は漸減する等条件としては非常に恵まれてはいないが、この地域にはこの地域としての特性があるからこの特性を十分伸ばすことが出来るように計画を策定することが根本である。

次に豊橋地方を中心とした東三河臨海地域の工業地帯である消費圏と関連をもたせ消費と生産を連結させることであるそれには生産物の質と量を安定させ商品価値を高める計画生産を行い消費地へ

の販路を開き一面観光事業を推進し観光地としての土地の個性を十分發揮出来るよう計画する、ただ観光客と特定の人の優遇だけでなく地域社会全体の福祉となるよう考え当地の特産物を観光用としてとり入れる等農協、森林組合の指導を得て計画実施が望ましい。

地域総合開発計画を推進していく上に於て道路の整備は最も急務である、幸い東栄町には二級国道豊橋飯田線が南北に通じており年々整備され、東海道と中央道を結ぶ幹線として重要視されておりこれに接続する町道林道の開設整備を図る、道路はあらゆるものを分散立地させる要素もっているので非常に明るい将来を考へることが出来る。

「明るい豊かな町をつくりましょう」

東栄町社会教育目標

世の常として誰しも明るい豊かな暮らしを望まない人はいないと思えます。

生産が高まり収入も増え、よりよい人間関係を創り出すことにより明るい家庭、これこそ多くの人が願ひ感じていることだと思います。

然しそれを求めるには幾多の研究努力をして歳月を必要とします。唯待っていて来るものではありません。

青年団、婦人会、PTA等の活動や青年大学、社会学級、婦人学級での学習を通して努力は払われておりますがこれらの進路ともなる事柄を決めこれに向って更に努力することにより一層効果をあげようと、去る七月二十五日の社会教育委員会に諮って「東栄町社会教育計画」を決めました。

先にいった社会教育関係団体や各学級での学習面では具体的に研究し活動の面に移してゆくように努力して参りたいと存じます。

で参りたいと考えます。

次に東栄町社会教育計画を掲載いたします。

目標

「明るい豊かな郷土の建設」

重点目標

▼よりよい人間関係を作り、円満な家庭と明るい社会を創造してゆく。

▼総合的な角度から生活の合理化、科学化をすすめてゆく。

▼産業の振興、とくに生産性の向上と合理化を図ることにより豊かな暮らしを築きあげてゆく。

昭和三十八年度社会教育方針

一、青少年教育

地域社会の実態に即応した学習の場を設け積極的参加を奨励し、その学習の場を通して「豊かな人格」の形成に努めるとともに地域を基盤としての共通の場としての青年団活動の活性化を促進し相互感化となかまづくりを一層強化してゆく。

一、成人教育

より豊かな知識と教養を身につけるため、成人のための学習の場を設け講座、研修会を開催するとともに婦人団体、PTAなどの自主的運営をすすめ、教養、活動、

奉仕の諸活動を育成する。

更にすすんで愛知県移動図書館の計画的、効果的活用について研究を重ね、地域に読書会の結成の気運を醸成するように努める。

一、家庭教育

家庭教育について究明しあらゆる場と機会をとらえて幼児教育、とくに青少年の健全育成の諸活動を促進し「明るい性格」と「高い人格」の形成に努める。

一、新生活運動

地域における推進組織の強化を図るとともに自主的な環境の美化運動、交通安全、貯蓄増強などの諸活動を促進するように努める。

黒牛十五頭を放牧

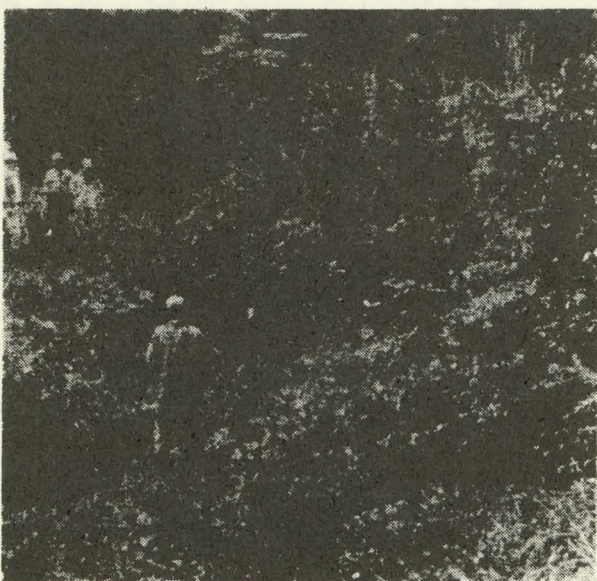
鴨山放牧場へ

東栄町大字振草古戸地内に北設楽郡鴨山郡有林がある、この郡有林の一部面積三十町歩を東栄町が借受け、本年度に於いて二十町歩を旧振草農協が事業主体となって県及び町の助成金を受けて林間簡易放牧場を作った。

放牧場を設置した所は五年生、十年生の杉及び松の植林地で地味は肥沃、飼料となる草類は豊富に繁茂し水利の便もよく牛を放牧するには誠に絶好の地といえよう、六月中旬個人の所有する黒牛十五頭を放牧した。

放牧場には管理棟三棟を建設しここで塩や若干の濃厚飼料が管理人によって与えられ牛の状況等も毎日見巡りしている。林木等は少しも損害されることなく牛の生育もすこぶる成績がよい、放牧場は針金で放柵をめぐらし三牧区に区切って順次移動するようになっている、これらの牛は九月頃に飼育者の下に降す予定である。

草資源の高度利用と省力管理併せて体軀の充実を図ることを目的とする林間簡易放牧場として大きな成果が期待される。



7月29日付県の合併認可 東 栄 協 完全統合なる

の組織として農民の福祉はもとより、ひいては東栄町経済力推進の原動力となり益々発展することを希い今後の活躍を期待する次第であります。

東栄農協が振草農協を吸収合併することについては去る五月開催された東栄農協定期総会に於いて議決された所であるが、今回七月二十九日付を以て県より合併の認可を得てここに名実共に農協の完全統合がなされたわけである。

拡大された事業規模と充実した経営能力の中で原田組合長以下新しい機構のもとに、東栄町一、三〇〇戸の農家のセンタ―として組合員による組合員のための組合員

東栄農協の新機構

組合長 原田守一
参事 中村重保

企画室 (参事各課長)

管理課長 加納信雄

資金課長 加納信雄(兼)

経済課長 伊藤文人

指導課長 内藤竜孝

下川支所長 伊藤卓三

御殿支所長 原田 行

御園支所長 北原利平(兼)

補佐 尾林清彦

足込支所長 北原利平

東園目支所長中尾要人

三輪支所長 原田徳七

振草支所長 内藤竜孝(兼)

補佐 小野田金平

古戸支所長 内藤竜孝

補佐 湯浅純臣

輪になつて

踊ればたのし

古くから唄いつがれ、踊りつがれその土地の風物と共に生きて来たものの一つに民踊がある。

六百余年の長い歴史をもつ「設楽さんさ」もその一つであるが、このように各地に数知れぬ民踊が

今も尚人人に親しまれ愛されております。

最近各地の民踊が数多く紹介されるようになりどんな所に住んでいても北海道や沖縄地方の民踊を通してその土地の風景、人情に接したような親しみを感ずる機会が多くなりました。

例年催されている民踊講習会が本年も去る七月十八日に本郷高等学校の体育館で開催されました。

島田豊年先生を講師に迎えてこの講習会は、むせ返るような暑さを他にレコードのリズムに乗って楽しく踊る人の輪が終日続けれ盛會裡に終りました。

講習会で習った数多くの各地の

完全統合に際して

東栄町農業協同組合組合長

原 田 守 一



東栄町農協と振草農協との合併については町御当局初め関係機関のご指導とご協力を賜わり合併実現への協議が決定し既に昨年十一月町の主催により経済団体統合の祝賀大会が開かれましたことはご

承知の通りでございますが其の後両組合共合併業務と事務的整理も進めて参りまして本年五月の総会には正式な合併決議が成立し、以来諸手続も完了し七月二十九日県の認可を受け八月一日には登記も

完了し予定通り振草農協と合併した東栄町農業協同組合として新発足することになりました。

昭和三十四年十月東栄町農協発足以来茲に三年十ヶ月其の間役職員的一致団結しての事業推進と組合員各位の絶大なご協力により県下各地の優良農協と肩を並べ得る成果を挙げて来ましたが自他共に認められる処でございます

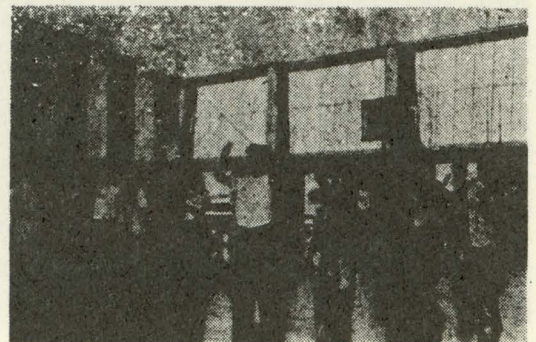
昨十一月農協法公布十五周年記念大会に於いて優良農協として知事の表彰を受けましたことは御同慶の至りでございます。而して

今後尚運営の面にも業務上にも改善しなければならぬことは沢山ありますし変り行く農業行政に対処して行く上にも重大な役割を与えられて居る次第でございます

大東栄町農協発足以当り責任の重大さを痛感すると共に今後の経営に一層の努力を傾注する覚悟でございます

何卒皆様方の変りましてご指導とご鞭撻を賜わり新農協が益々堅実な発展を期するよう格別のご協力をお願い申し上げます

この紙面では要を得ませんが私のご挨拶といたします。



民踊が地区の運動会や敬老会等の機会に紹介され、皆様方の眼を心を楽しませてくれること存じます。

社会教育委員長に

柴田静雄氏就任

社会教育委員の任期満了に伴い後任委員の選任を急いでおり、したがって新委員として学校長の代表、社会教育団体代表、学識経験者として次の方々に就任願うことになりましたので、よろしくお願いいたします。

社会教育委員改選後の初会合を去る七月二十五日、役場において開催し、東栄町社会教育委員長に柴田静雄氏（足込）、副委員長には村松義男氏が就任いたしました。

社会教育委員長

柴田 静雄

副委員長

村松 義男

○学校長代表委員

高野 龍治

村松 義男

丸山 愛彦

○社会教育団体代表委員

原田 嘉美

佐々木 徹

西尾 重光

桜井 寿賀子

○学識経験者代表委員

伊藤 節枝

原田 れい

原田 ウタ子

伊藤 豊太郎

杉平 忠雄

原田 守一

伊藤 五郎

川根 百歳

町の子と、山の子

どうぞよろしく

交 歓 会

豊橋市健民少年団松山校区隊の野沢弘隊長以下六十余名の町の子が粟代こども会の山の子たちと交歓のために去る八月三日、来町しました。

粟代橋まで出迎えた粟代こども会が整列して待つうちに十二時四〇分元気に到着、「ようこそ」とこども会代表が花束を贈り、粟代小学校鼓笛隊を先頭に約一〇〇

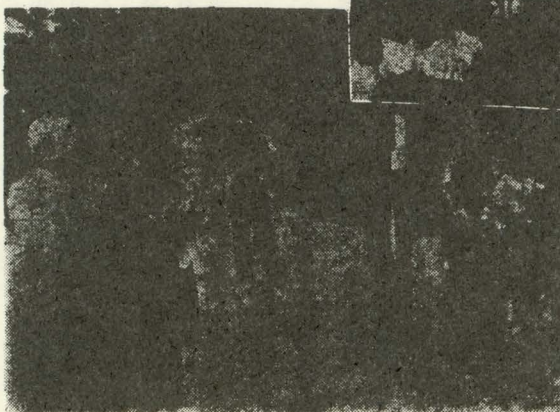
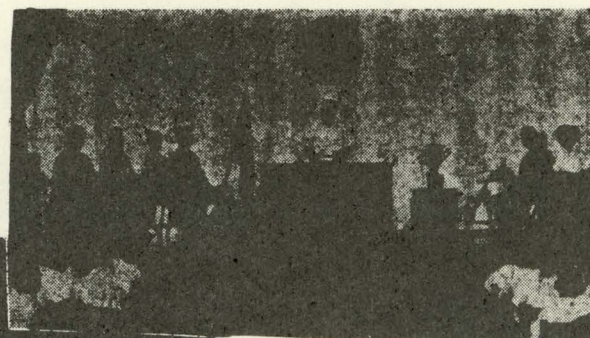
鈴木 彰
伊藤 富雄
栗林 知伸
後藤 宇三郎
伊藤 彦一
柴田 静雄
藤原 秀吉
中尾 要人
菅沼 光男
鈴木 久次
伊藤 栄市
伊藤 忠之
青山 雅美
片桐 美治

〇米を市中行進して粟代小学校に到着した。

旅装をたく間もなく午後一時より同校講堂での交歓歓迎式に移り、豊橋市長のメッセージに次いで、東栄町長に代って伊藤助役が「山の子と仲良くし、三日間を楽しくすごして下さい」と歓迎の言葉を述べ、野沢隊長が「新鮮な山の空気を胸いっぱい吸って帰りま

す」と挨拶し、松山校区隊持参の記念品をこども会代表に贈られ、東栄町からは東栄観光絵はがきが記念品として松山校区隊代表に伊藤助役の手で贈られた。

その後、白い土で有名な地元の三信鉱工の採掘場、工場を見学し



て第一日を終え翌日は栗石峠に化石採集に出発、帰ってのキャンプファイヤー等と盛りたくさんな交歓行事を終え八月四日午後、粟代こども会隊員に見送られて全員元気に豊橋めざして帰ってゆきました。

去る七月二十一日午前十時より東栄町青少年の家において、夏期防犯徹底町民大会が開催されました。この大会は本年もいよいよ酷暑にむかい、これから各所で夏祭り、その他の納涼行事等が行なわれるほか、観光地としての山岳観光の来訪者等が例年より一段と増加することも考えられ暴力犯罪、性犯罪、青少年犯罪、その他の各種犯罪の多発が予想されるので、

町から犯罪の一掃へ

五項目を決議 防犯徹底町民大会で

町民自らの手による夏期防犯の徹底を図るため催されました。

県警察本部防犯課長始め多数の来賓のご臨席を賜わり、町内各種団体の代表者が出席して盛大に挙行され、次のとおり宣言、決議を行ない小学校児童に標語入り風船を配布して盛会裡にその会を閉じました。



愛知県警察本部鈴木防犯課長の講演

宣 言

わたくしたち、東栄町民は、防犯徹底宣言書を再確認し、ことごとそ全町民が一致協力して、暴力犯罪、性犯罪、侵入盗、青少年の福祉を害する犯罪などの防止並びに迷惑防止条例違反の撲滅を重点とした夏期防犯を徹底して一人の犯罪者もない正しく、明るく、美しい理想郷土の建設に努力することを期す。

右宣言する、

昭和三十八年七月二十一日

夏期防犯徹底東栄町民大会 決 議

私達は本大会において宣言した次の事項を強力に推進する、

- 一、暴力犯罪の防止
- 一、性犯罪の防止
- 一、侵入盗の防止
- 一、青少年の福祉を害する犯罪の防止
- 一、迷惑防止条例違反の防止

右決議する。

昭和三十八年七月二十一日

夏期防犯徹底東栄町民大会

涼と観光の二重奏

北設山
岳公園 明神山の山開き行わる

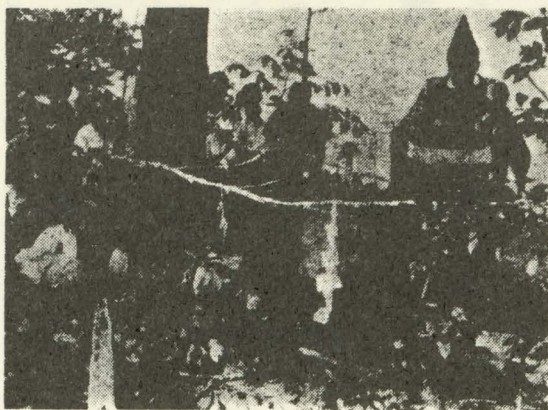
海に山に真夏の猛暑から逃れようとする人々で大盛況であることは、報道機関のニュースの中で欠くことのできない昨今であります。

涼へのあこがれ、そして観光と二重のたのしみを満してくれる場所、これが私達の足元、いや頭の上にあるのです。我が東栄町が県下に誇る北設山岳公園の雄明神山がその場所といえましょう。

県下の最高峰である明神山は海拔一〇一六米で霧雲を下に眺め、胸をよぎる風は汗を拭い、全山涼気に満ち溢れて快適な気心地は真夏の樂園を思わせるものがあります。

又、頂上の展望は快晴の日には東に富士山、南に三河湾一体が一望のもとに収められ、北には日本アルプス連峰が遠望出来るという、この雄大な展望を誇る明神山は、今や各方面から訪れる観光客の注目を集めつつあります。

この時にあたり町観光



協会に於ても、従来より明神山の観光開発に力が注がれて居りますが、本年度も六月中旬より関係者の手によって登山道路の清掃及び修理等が実施され、そして去る七月十日には原田町長始め関係者多数参列のもとに、明神山頂において山開式が執行され、向う一ケ年の山の安全と登山者の保護を祈願いたしました。北設山岳公園の一角を荷負う明神山が、観光地として今後ますます発展出来得ますよう皆さんの一層の御協力をお願い致します。

普及所だより

●今後の稲熟病防除対策

長雨で軟弱徒長気味になった水稲も、六月下旬からの天候回復で、ほぼ平年に近い生育になりましたが、未だ軟弱のようです。今後穂イモチえと拡大するおそれが多分にあります。特にこれからの肥培管理の適否が例年よりも一層収量に大きく影響する年と思われるので、今後は次の点に重点をおいた管理に努力してください。

記

一、いもち病防除

本年のいもち病多発と現状の稲の生育状態及び早冷予想から見ると現在発病している水田は早急に薬剤散布して蔓延を防ぐ、発生していない稲に於いても出穂前七日と出穂後の薬剤散布は必ず行なう。

1. 使用薬剤＝有機水銀剤(液剤、粉剤)

ブラエスM(液)

剤、粉剤

2. 散布量＝粉剤三、五～四K

液剤一五〇L

二、穂肥の適正使用

長雨対策として元肥追肥を例年より控え目に施肥された水田は穂

肥は計画通り施用してよいが施肥過ぎないよう注意するなお出穂直前までは穂肥の効果がある。

●結球白菜の作り方

秋野菜は大根、かぶ、ほうれん草、水菜、京菜、等その種類は、多くありますが、結球白菜は、煮食やあえ物、漬物として、ひろく利用され、秋のそさいの代表的なものの一つとなっております。しかしよく結球したものでありまないと、その風味、貯蔵力も劣りますので、冬の野菜欠乏時の利用価値が少くなります。従って、よい球を作るには、相当技術を必要といたしますので、作り方の概要を申し上げてみたいと思います。

(1)品種について、白菜は病害特に軟腐病にかかり易いので、先づ病害に強い品種を選ぶことが大切です、数年来試作の結果、一般向

として、松島新二号、松島交配五号等がよく、特におそ時として、結球するものには、松島新五号及六号等の品種がよいようです。

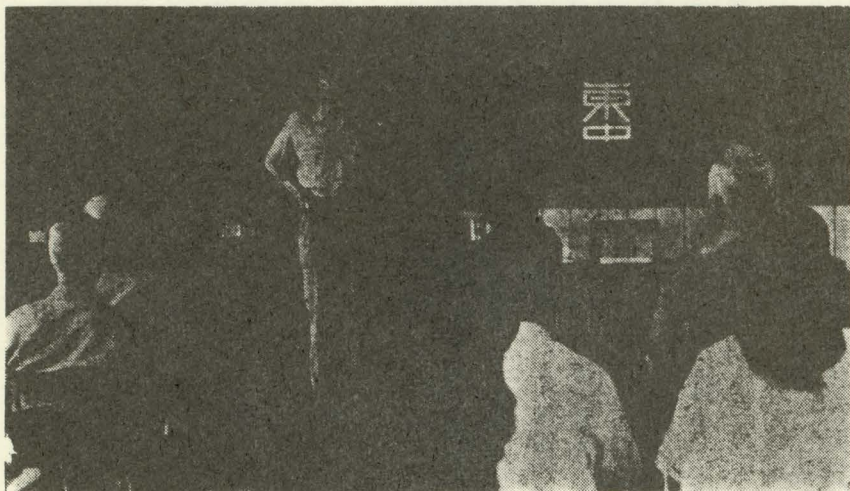
(2)土地について、有機質に富み保水力があつて、しかも排水のよい所がよいようです。連作は病害の発生が多いので、三カ年位の輪作にしてください。

(3)播種期について、早すぎると腐敗病や、根腐病、にかかりやす

く、また「きすじのみ虫」や芯喰虫等の被害を受けますし、おそすぎると、結球が小さかったり極ど結球しないようになりますので、種子まきの適期を選ぶことは大切です。当町に於いては、八月二十日頃を中心におそくとも、八月二十五日頃までに時付けを終るのがよいではないかと思ひます。

(4)まきかた、七十五厘の距離にうねを切り、元肥を施して、少し小高いくらをつくり、株間四十五厘位の距離に一八〇〇cc、びん底か、足にてくぼみをつくり、これに薄い下肥か尿素を水一八ℓに七十五gとかしたものを流して、一カ所一〇粒位づつ種子を蒔いて土を七、八厘の厚さにかき、乾燥する時には、三種位の切わらをうすくかけておいてください。

(5)肥料について、結球白菜は短い期間に、多くの肥料を吸収しますので、速効性のものをたびたび施し、肥切れを起さないようにして下さい。自給肥料として、堆肥鶏糞、木灰等がよく、特に堆肥は必要ですが、未熟なものを施しますと、初期の発育がおくれますので、よく腐熟したものを全面か、畦の下に施して下さい。金肥としては葉根菜化成肥料を一〇a当り、六〇K・二〇K入三袋



新しい町づくり懇談会における井上学大助教授の講演

に尿素の薄い液等を四回位に分けて下さい。特に結球始めに尿素、加里、の水溶液を畦間に流しますと、球のしまりがよく、品質のよいものがとれます。

(6)間引について、発芽してから三、四回にわたって間引きを行ない最後に、本葉一〇枚位のときに、一株一本にして下さい。なお間引の時に注意して頂くことは、

1. 病虫害の被害を受けたもの

2. 葉にきざみのあるもの

3. 葉の色が濃すぎるもの

4. 葉柄の長いもの

等は除いて下さい。

(7)水かけ、白菜の最も発育するのは播種後三五日か、四〇日頃の時期には、一日に一〇a当りの白菜が、一二〇K位の目方を増す時期で、水分を必要としますので、極度に乾燥する時には、畦中に灌水するのもよいと思ひます。

(8)結束について、十一月に入り降霜をみるようになりましたら、わらで外葉を集めて、ゆるくしばってください。

(9)収穫と貯蔵について、結球の頭部をおさえてみて、十分堅くなったものからしだいに、採収し外葉を除いて調整し、球の二つ二つを新聞紙で包み納屋等に貯蔵して下さい。

清流が迎える山合いの町

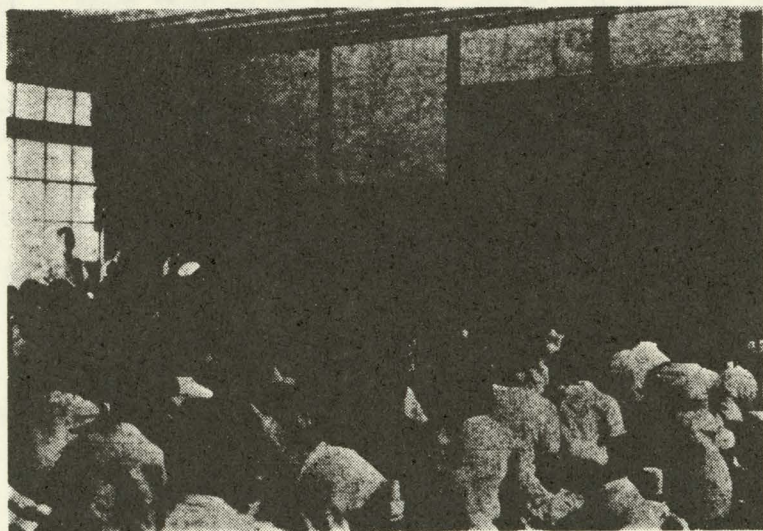
涼風の森に林間学校開設

乳白の霧とさわやかな小鳥の声に眼覚め、快い涼風と朱い夕映えに暮れて一日を終える……。自然の生んだかきりなく美しい山と川のある町——そこに今年も林間学校が開設された。去る七月二日、名古屋市の東山小学校生徒三〇〇名を迎え開校式を行ったが、閉校予定の八月二三日まで約三、〇〇〇名の利用者が予約されており係の先生方は多忙を極めていた。

渡る自然との楽しい交歓を終える、真恵に陽焼けた顔に健康そのものといった瞳を輝やかせてこの町に別れを告げて行く。

「お世話になりました。また来年も来ます」

「お元気で、来年もまた必ず逢いましょう」



訪れた都会の子供達は、神峰明神山へ足を運び、振草川の流れたたわむれ、鉱、植物の採集に汗を流す。文字どおり、よく学びよく遊ぶ。そして数日に

林間学校開校式

この別れは少しの悲しみも含まない。再会を約してこぼれるような笑顔の中でバスはトンネルの闇に消えていった。それを送った係の誰もがこの子供達の明日への成長を心に折った。あの子供達の青春の日の思い出の中にこの林間学校が美しい物語のページを綴るようにと……。

死者のみよりを

さがす運動開始

本郷駐在 高木唯男

いままでの十年間に警察で取り扱った変った死にかたをした人のうちで、いまだにみよりのわからない人が全国でおよそ二万六千人もあります。愛知県でも五百二十人のみよりがわかつていません。早やお盆月も過ぎようとしているのに、この人達の魂はだれも手つてあげる人もいまま魂は迷い続ておられます。ここで警察では迷い続けている魂を一人でも多くみよりの方をさがしてやり、又家族のかたに苦しみをおくぶんでも軽くすることができればと思ひ死者のみよりをさがす運動を始めたい。ますから皆さんの家族、親戚、知人等のなかでこの十年間のうちで自殺をするといつて家出した人、

家出のときノイローゼだった人、家出して長く便りのない人等行先不明の人の中で不幸になつてなくなつておられるかたもあるかも知れませんから、もしやと思ひのかたは、警察か次の相談所へお尋ねください。警察では変死者を取り扱つたときにカードを作ります。そのカードは死んだ人の顔や持ち物などの写真や死んだときの様子などを書いて保管してあります。昨年この運動を始めて愛知県で十六人又全国で百三十三人の身元がわかりましたからお心当りのかたは

一人で心配なさらずにぜひ一度お気軽に警察か相談所へおこし下さい。相談所は次の通りであります。

第一回 八月十三日、十四日、十五日、の午前九時から午後五時まで、名古屋市中区下茶屋町東本願寺名古屋別院境内

第二回 八月二十日、二十一日時間前と同じ

岡崎市中町東本願寺三河別院

第三回 八月二十七日、二十八日時間前と同じ

一宮市柳町鎮正寺（一宮警察署西側）以上

警察官増員募集

警察官になるチャンス、たたいま増員五〇〇名募集中であります。あなたの力を警察で生かそう。愛知県の治安を守るために若いあなたの方の応募が期待されております。募集は次のとおり。

一、募集期間

八月十五日から九月五日まで

二、受験資格

昭和十一年四月三日から昭和二十一年四月一日までに生まれた男子、ただし昭和三十九年三月高

等学校卒業見込みの者は昭和二十一年四月一日までに生まれた者もよい。

三、志願用紙

警察署、駐在所にあります。

四、試験日時場所

第一次試験 九月十五日

名古屋市明和高等学校

豊川市国府高等学校

第二次試験 九月二十三日

名古屋市中

以上

入場券の

半券受取は確実に

映画館などに入る時、切符を買って入口で係員に渡すと半分に切つて渡してくれます。これを「入場券の半片」といっていますが、半片を受取ることは入場料金といっしょに払った入場税が正しく国の収入となったことになります。つまり半片は入場税を払った領収証ということになります。もしこれを受取らないため、同じチケットが何度も使われたとす

七月の行事

- 一日 産犢選奨牛審査く町内全域
- 二日 鴨山放牧牛状況調査実施
- 三日 正副区長会く役場
- 四日 産犢選奨表彰式く役場
- 五日 産犢選奨交付金打合せく役場
- 六日 固定資産評価打合せ
- 七日 経口生ボリ才投与く保健所
- 八日 土木補助工事検査
- 九日 日赤巡回診療班来町
- 十日 国有農地調停調査く現地
- 十一日 選挙管理委員会く役場
- 十二日 教育事務新副長学校訪問く
- 十三日 月、中設案小学校
- 十四日 鴨山放牧場しゅん工報告会

(設案事務所)

く現地

- 十三日 明会く各支所
- 十四日 土木事業推進陳情く新城
- 十五日 土木出張所
- 十六日 東部地区学校給食調理員研修会く中央小学校
- 十七日 農林団体指導者連絡会議く普及所
- 十八日 珠算検定試験く東栄中学校
- 十九日 振草川撮影大会実施
- 二十日 農地等被買収実態調査打合せく役場
- 二十一日 水泳安全指導会く中央小学校
- 二十二日 農業災害復旧事業会計検査員検査実施
- 二十三日 町婦人学級
- 二十四日 土木補助工事検査く県民協議会く本郷高校
- 二十五日 西園目育成牛放牧開始
- 二十六日 管理指導会
- 二十七日 教育事務所副長学校訪問く奈根小学校
- 二十八日 行政苦情相談
- 二十九日 夏の町民防犯大会く青年の家
- 三十日 町林間学校開校式
- 三十一日 戸籍事務現地指導
- 三十二日 振草地区町政懇談会く支所
- 三十三日 平沢開拓小団地整備事業現地調査
- 三十四日 県議会農地農林委員及び農林部長来町視察

ふるさと歌壇

短歌

七月詠草

- 二十四日 伝染病舎建築委員会く役場
- 二十五日 社会教育委員会く役場
- 二十六日 総務委員会
- 二十七日 水泳指導者講習会
- 二十八日 水泳指導者講習会
- 二十九日 稲熱病その他病害虫発生状況調査く県保官
- 夕立の過ぎし山腹若杉の
- 瑞芽の露の陽にきらめきつ
- 人 金指節子
- 紫のしその葉の紅は
- ひろがりて
- 瓶の梅の実染まりゆく日々
- 俳句
- 天 金指節子
- 山百合の蕾だんだん重くなる
- 地 鈴木正子
- 大波に心のつかれ棄せて行く
- 人 金田つたえ
- 梅つけて心やすけしかななく
- 入 神谷花子
- 雨に咲き雨に散りゆくはらの花
- 入 神谷花子
- 山羊引きて帰る野道や月見草
- 入 伊藤力
- 炎天にみみづのたうつ二級国道
- 入 岡本三江子
- 吾子摘みしせいを愛でつつ夕餉食む
- 入 伊藤静
- 裏山に水恋鳥や夏かすみ
- 入 伊藤静
- 細土を流しつくして夏出水
- 入 金田つたえ
- 風鈴のソヨトも無くて遠雷す
- 人 岩倉源三郎